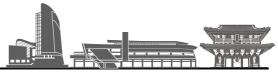
# 受託事業者からのお知らせ

VOL.2



この度、川崎市要介護認定事務業務委託を受託した(株)日本ビジネスデータープロセシングセンターです。川崎市様と協同して認定調査票の適正化や効率的で効果的な業務の遂行に取り組んでまいります。

認定調査票に関するお問い合わせを弊社担当者よりさせて頂く際は、<u>携帯電話</u>からご連絡致します。お問い合わせは以下の携帯電話番号を使用しますのでご承知おきください。

また、裏面には今後特記事項を記載頂く際に、留意して頂きたい内容を記載しております。 内容をご確認の上、認定調査票作成にお役立てください。今後も調査員様にお伝えすることが ある場合は、書面にてお知らせする予定です。

### 【携帯電話番号一覧】

携帯電話番号		
1	070-1513-7838	2024年4月1日より 携帯電話の運用が変更となりました
2		
3	070-1513-7840	

<sup>※</sup>上記のいずれかの番号よりお問い合わせ致します。

### 【お問い合わせ】

調査員様へのお問い合わせの際は弊社担当者が「川崎市、調査票点検担当の〇〇です。」と名乗り、『調査対象者の苗字』と『調査実施日』をお伝えします。

### 【折り返し連絡】

調査員様から折り返しのご連絡を頂く際は『事業者名』、『調査員名』、『依頼された区・支 所名』、『対象者氏名』を弊社担当者にお伝えください。

問合せについては、なるべく早く回答をいただければ幸いです。認定結果をお待ちの被保険者様に1日でも早く通知できるよう、早めのご回答にご理解とご協力をお願いします。

## 受託事業者からのお知らせ ۷01.2

~特記事項を記入する上でのお願い~





川崎市より委託を受けられている調査員様へ 特記事項の記載について、留意していただきたい内容をお知らせします。



### 【特記事項の記載方法と留意点】

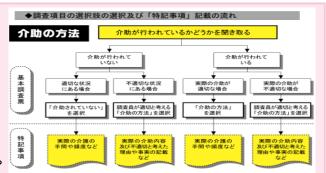
- 基本調査と特記事項の記載内容に矛盾がないか確認し、審査判定に必要な情報が提供できるよう、<u>簡潔明瞭に記</u>載してください。
- 「選択根拠」、「手間」、「頻度」の3つのポイントに留意しつつ、特記事項を記載してください。

### 【介助の方法の特記事項記載について】

「要介護認定 認定調査員テキスト2009改訂」 P.24の図を 再度ご確認ください。

選択根拠となる介助の状況について記載してください。 ①どのような介助が行われているか、②自身で行えることは何か、 ③介助が行われている頻度、④不適切な状況がある場合、 不適切な様子とどのような適切な介助が必要か

以上を特記事項に記載することで選択根拠が分かりやすくなります。



### 【2-2】移動

屋内での必要な場所(食堂、トイレ、浴室等)への移動に介助が行われている場合、必要な場所への<u>介助の状況</u>を具体的に記載してください。

- ×「トイレや食堂等の必要な場所へは介助して移動している。」
  - →どのような介助が行われているのか、具体的な介助の方法と頻度の記載が無い為、選択根拠が読み取れません。
- ◎「トイレ(6回/日)や食堂(3回/日)等の必要な場所へは、介助者が腰を支える介助をして移動している。」



・選択根拠となる具体的な介助の方法と発生している頻度について記載してください。

※対象者のことだけでなく、周囲の人が行っている介護の手間を記載することで、介護認定審査会での審査 判定に参考となる情報になります。

#### 【5-5】買い物

定義に該当する行為の中で「自身で行っていることは何か」、「どのような介助が行われているのか」を記載してください。

- ×「自分でも買い物に行くが、重いものは娘に頼んでいるため、『一部介助』を選択。」
  - →頻度の記載が無い為、頻回な状況での判断ができません。
- ◎「自分でも週3回買い物に行くが、重いものは月2回娘に頼んでいる。頻度から『介助されていない』を選択。」
- ×「入院中だが、病院の売店に買い物に行くため、『介助されていない』を選択。」
  - →誰が食材・消耗品等の日用品を購入しているのか判断できません。入院中や施設入所中は「全介助」になる事が多く、「全介助」以外を選択する時は、本人の能力や置かれている状態などから、理由と適切な介助の方法を記載してください。(認定調査員テキスト「要介護認定等の方法の見直しに係るQ&A」 P175 参照)
- ◎「入院中だが、病院の売店に買い物に行き、おやつやティッシュを買い足す。食材の大半は病院で購入しているため、『全介助』を選択。」



- 「買い物」とは、食材・消耗品等の日用品を選び、代金を支払うことです。
- ・状況によって発生している介助が異なる場合は頻回な状況で選択するため、選択の根拠となる 「頻度」と「誰がどのような介助を行っているか」の記載が必要です。